

駐車規制緩和や高速料金引下げを 軽油・旧暫定税率の廃止求める

＝東ト協＝ 都議会3党に 特別要望

東京都トラック協会(大高一夫会長)は9月2日、東京都議会自民党に対して「平成26年度東京都に対する要望書」を提出し、これに続き翌3日には都議会公明・民主両党に対して同様の要望を行った。特別要望事項として駐車規制の緩和や運転免許制度の見直し、環境対策への支援継続、首都高速料金引き下げなどを求めるとともに、運輸事業振興助成交付金の適正な交付措置を要望した。また税制・予算関係では自動車関係諸税の簡素化・軽減や、燃料価格高騰に対処するための補助制度創設などを強く訴えた(要望事項3面)。

るため日常の集配業務に支障を来し、「年間60回も取り締まりを受けているケースもあり、死活問題」などと訴え、営業用トラックに対する規制緩和や監視員ガイドラインの見直しなどを求めた。また免許制度についても、現行制度が若年運転者確保の制約要因になっ

ているとし、普通免許範囲を6・5ト未満まで引き上げるよう要望した。高速料金に関しては、特に大口・多頻度割引の適用要件と関連し、ETCコーポレートカード利用額について、管理主体を超えた一体的な取り扱いを強く求めた。

さらに交付金に関する特別要望として、制度の基本理念に基づく適正な交付措置を強く求め、26年度は年額12億円とするよう要望した。26年度税制改正に関し

ては、自動車関係諸税の簡素化・軽減として軽油引取税の旧暫定税率廃止や、自動車重量税の廃止もしくは道路特定財源への位置付け、「地球温暖化対策のための課税の特例」による還付措置適用など4項目を重点要望。予算関連では、燃料価格高騰に対する補助制度創設をはじめ、高速料金の終日半額化および大口・多頻度割引拡充による70%割引の実現、省エネ・環境問題に対処するための補助・助成の創設などを強く求めた。

警察庁が有識者検討会設置へ

トラック運送業界がかねて免許区分見直しなどを要望していた、中型運転免許問題に関して、警察庁は9月中にも有識者

中型免許問題

による検討会を設置し、制度見直しについて検討する方針だ。所管の古屋圭司国家公安委員長(国務大臣)が8月21日、全日本トラック協会の星野良三会長に対して、業界が要望しているため、警察庁は免許区分を見直し、普通免許範囲を総重量6・5ト未満まで引き上げるように、再三要望してきた。

今後、有識者検討会による議論の行方が注目される。今回の検討会設置により、懸案の中型免許問題がようやく制度見直しに向けて、大きく動き出すことになり、見通しだ。

自民党に要望



公明党に要望



民主党に要望



平成19年の免許制度改正で、普通免許の範囲が狭められる一方、中型免許が創設され、総重量5ト超のトラックに免許するには中型免許が必要と

9月21日から秋の全国交通安全運動
東ト協街頭活動統一実施日9月26日



平成25年秋の全国交通安全運動が、9月21日から30日まで実施される。期間中「交通安全」をテーマとし、「夕暮れ時と夜間の歩行中・自転車乗用中の交通事故防止」とし、「夕暮れ時と夜間の歩行中・自転車乗用中の交通事故防止」(全ての座席のシートベルトとチャイルドシートの正しい着用の徹底)、「飲酒運転の根絶」(以上は全国共通)、「二輪車の交通事故防止」(地域重点)の4項目を重点に実施される。

東ト協は、9月26日を街頭指導活動の統一実施日として、各支部が都内各所で交通安全活動を展開する。

国交省・全ト協など 「点呼励行」啓発活動 今年度末まで集中的に展開

国土交通省は9月から平成25年度末にかけて、全日本トラック協会(全国貨物自動車運送適正化事業実施機関)・日本路線トラック連盟・自動車事故対策機構などとともに、全ト協や各都道府県ト協は適正化事業実施機関として、巡回指導時などにおいて各事業者・運行管理者などに対して指導・啓発を行う。啓発活動の推進に当たっては、「点呼の実施はトラック輸送の生命線(いのち)です」などと呼びかけるパンフレットを作成・配布し、確実な点呼の励行を推進する。

浅井副会長は特に軽油引取税に言及し、業界の多くが赤字経営にもかかわらず、課税根拠を失った同税の負担を強いられ、「業界では不公平感が強く憤まんやるかたないとの声が多い」と訴え、旧暫定税率の廃止などを強く求めた。

紙面あんない
GN・輸送契約ガイドライン 2
26年度東京都に対する要望 3
25年度第1回運管試験問題 4
第13期物流経営士課程修了式 5
労務厚生・事故防止各委員会開催 6
7

グリーン購入ネットワーク 「環境優良」運送事業者 優先利用へ契約ガイドライン

グリーン購入ネットワーク(GPN)が、CO₂排出削減など環境配慮型輸送サービスの利用拡大を目的に、日本初の「輸配送(貨物自動車)」契約ガイドラインを制定した。荷主企業が、環境負荷軽減に積極的に取り組む運送事業者を優先的に利用する仕組みを構築した。具体的には東京都トラック協会のグリーン・エコプロジェクト(GEP)参加事業者や、東京都「貨物輸送評価制度」など第三者評価を受けている環境対応が優良な事業者の企業情報を、GPNが運営する環境情報サイト「エコ商品ねっと」に掲載し、荷主が選択できるようにする。掲載事業者にとっては、受注機会が拡大が期待できる。

「エコ商品ねっと」に企業情報掲載



記者発表をした。平尾会長は、制定の狙いについて「荷主に、環境に配慮した輸配送をする貨物運送事業者を積極的に選択してもらう仕組みをつくること」と述べ、麴谷和也専務理事・事務局局長は「荷主と運送事業者をつなぐビジネスマッチングの場を提供すること」とその意義を強調した。

ガイドラインは、「荷主が輸送に係る環境負荷低減に向けて考慮すべき事項(項目1)」と、「貨物運送事業者の選定時に考慮すべき事項(項目2)」などで構成。

荷主が環境負荷低減に向けて考慮すべき事項は、環境対策の取り組みや輸送効率の向上、低公害車・低燃費車などの利用割合の向上、エコ

ドライブの推進支援、貨物運送事業者との連携など39項目。具体的には輸配送における荷主向け環境取組状況チェックリストを提示している。

このリスト第39項目(No.39)では「エコ商品ねっと」に情報掲載の実運送事業者(利用運送事業者)の場合には掲載の実運送事業者を利用していることと運送契約を結んでいることとし、その優先利用を求めている。

一方、運送事業者の選定で考慮すべき事項では、第三者評価を取得している事業者や、東ト協GEPに1年以上参加している事業者や都「貨物輸送評価制度」の評価を受けている事業者、およびこれらと同等の取り組みを担保し第三者評価を取得してい

る事業者などで、1台ごとの正確な燃費を実測把握し、荷主の要求に応じた情報提供できること。事業者選定の際の有力情報となる「エコ商品ねっと」への掲載条件は、実際にトラックを保有する実運送事業者(および実運送事業者と契約している利用運送事業者)で、これら環境経営および燃費取組のいずれかの要件を満たし、「GPN事業者評価チェックリスト(輸配送/貨物運送事業者向け)」(57項目)に記載すること。

「エコ商品ねっと」 情報掲載の促進へ 特別キャンペーン ～来年3月末まで～

GPNではガイドライン制定に伴い、環境対応が優良な貨物運送事業者に対して「エコ商品ねっと」(http://www.gpn.jp/econet/)への積極的な情報登録・開示を呼びかけている。

情報登録できるのは原則としてGPN会員。このため来年3月末まで、GPNへの加入と情報掲載を促す「エコ商品ねっ

と」掲載促進キャンペーンを実施中。期間中、今年度会費(1万円)を免除し、年間掲載料(6千円)だけで情報登録できる(入会しなくても掲載料を負担すれば、登録可能)。登録情報は年4回更新し、輸配送分野の登録情報は9月30日から開示する(9月12日までに登録分)。輸配送分野は、登録期間終了後も個別にデータを受け付ける。

▽GPN会員登録先
http://www.gpn.jp/admission/application.html
「エコ商品ねっと」登録窓口
http://www.gpn.jp/econet/admin/login/



「エコ商品ねっと」登録窓口はアクセスし、画面最下部の「新規事業者登録」に申し込むと、登録用IDとパスワードが送信される。

なお、ガイドラインの使用条件は、「荷主向け環境取組状況チェックリスト」項目の60%以上をクリア(対象外項目は除く)、かつ「エコ商品ねっと」に情報掲載している運送事業者と契約している荷主企業、および同サイトに情報掲載の運送事業者。

名刺やパンフレット、ホームページなどで使用し、自社の取り組みをPRできる(ただし、車両などには使用できない)。

点検整備 推進運動 9・10月に強化月間



国土交通省は自動車関係業界団体とともに、9・10月の2か月間を強調月間として「自動車点検整備推進運動」を推進する。これにあわせて全日本トラック協会では、トラック運送業界における点検整備推進運動の強化期間を展開する。

強化月間における重点実施事項は、①大型自動車に関する適切な点検・整備の実施方法についての啓発②DPF(黒煙除去フィルタ)などの後処理装置付き車の正しい使用方法に関する啓発。

具体的重点点検項目は、①走行装置(ホイール)②原動機(燃料装置)③電気装置(電気配線)④制動装置(ホースおよびパイプ)。

なお、車両総重量8t以上の事業用トラックを50台以上保有する事業者については、別途、9月から11月までの3か月間を重点点検期間として徹

違反別 営業用トラック関与の交通事故 (平成25年7月末)

違反別	安全不確認	前方不注意	交差点安全進行	歩行者妨害	一時不停止	ハンドルブレーキ	信号無視	徐行違反	その他			計
									右左折	その他	計	
大型	87	71	21	2	0	17	6	0	1	52	257	
関与事故件数	93	71	25	2	0	17	6	0	1	90	305	
(前年比)	+11	+20	-9	-10	+0	-2	+1	+0	+0	+14	+25	
中型	180	170	75	23	4	29	14	1	0	102	598	
関与事故件数	188	173	90	23	4	29	14	1	0	226	748	
(前年比)	+13	+8	-11	+2	-7	+3	+1	+0	-65	-48	-48	
普通	209	161	135	24	11	35	8	1	2	112	698	
関与事故件数	217	164	155	24	11	36	8	1	2	321	939	
(前年比)	-39	+12	-22	-6	+3	-5	-3	-2	+1	-55	-116	
合計	476	402	231	49	15	81	28	2	3	266	1,553	
関与事故件数	498	408	270	49	15	82	28	2	3	637	1,992	
(前年比)	-15	+40	-23	-27	+5	-14	+1	-1	+1	-106	-139	
死者数	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	8	
大型貨物車(1当)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	
中型貨物車(1当)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	
普通貨物車(1当)	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	2	

注：営業用貨物車の関与事故件数とは、第1または第2当事者のどちらか一方が営業用貨物車であった事故の件数をいう。ただし、第1および第2当事者がともに営業用貨物車であった事故は件数を1件とする。
※表中の(前年比)は、関与事故件数のもの。

「青だけど車は私を見てるかな」 営業用トラック関与の交通事故の特徴

平成25年7月末現在の都内全域の交通事故発生件数(本年累計)は2万4,089件で、前年同期比2,981件減少し、死者数は90人で同3人の減少となった。

営業用貨物車の関与事故(「違反別」表の「注」参照)発生件数(本年累計)は、1,992件で前年同期比139件減少し、死者数は14人で同8人の増加だった。事故類型別にみると、右左折時の車両相互事故が232件で同7件の減少となり、死者数は4人だった。違反別では、安全不確認による関与事故が498件と最も多く、前方不注意に関する違反が408件で同40件増と大幅に増加している。

東京運輸支局 秋の交通安全運動実施細目

東京運輸支局は、平成25年秋の全国交通安全運動実施細目(トラック事業)を定め、積極的に取り組むよう求めている。

【事業用自動車等の安全運行の確保】

① 次の事項に重点を置いた安全運行の徹底を図ること。
② 過労運転を防止するため、適切な運行指示書の作成や長距離運転、または夜間の運転に従事する際の乗務時間の遵守などの運行管理を徹底すること。
③ 運転者の健康に起因した事故を防止するため、運転者の疾病等の状態に関する法令を遵守することができること。社内での運行管理体制の整備・充実など安全運行を徹底するよう求めている。

国土交通省人事 (8月30日)
大臣官房審議官・自動車局担当(警察庁警察大学校国際警察センター所長) 大庭靖彦

運輸 点描

住宅業界で物流の再構築進む

住宅用建材の関連業界で、事業構造改革などに伴う物流の再構築が進んでいる。在庫配置を見直し、エリアを東西に分けて中継基地経由で配送する体制を整備した建材メーカーは、在庫偏在に伴う横持ち輸送を解消。部材配送の帰り便で建設現場の廃棄物を回収する仕組みを構築した住宅メーカーでは、それによってコストを上げずに多頻度配送を実現している。

ある建材メーカーでは、平成21年度から事業構造改革に取り組み、4年間に総額で200億円近いコスト削減を達成した。このうち40億円余りの削減分は、物流の再構築によるものだ。

同社はブロックごとに9か所の物流センター(DC)を設置している。従来は多頻度出荷品の在庫をすべてDCに持ち、DCから出荷エリアのサッシ販売店や施工現場へ配送する体制だった。

だが、工場からDCへの補充に問題があった。工場は生産と補充の効率を優先するあまり、トリー形に変えた。

タルで需給を管理し、在庫の薄くなったDCから順にまとめて補充する方法をとり、どこかのDCに品切れが起きると、ほかのDCから横持ちして調整していた。その結果、遠隔地のDC間で横持ちが頻繁に起こり、輸送費の増大を招いていた。

改善策としてエリアを大きく東日本と西日本に分けて、東西でそれぞれ1か所のDCだけに在庫を置き、各エリア内のかの拠点を中継基地として活用。DCから中継基地まで幹線輸送し、方面別に積み替えて配送する形に変えた。

在庫配置を変え拠点間の横持ち解消 配送の帰りに廃棄物を回収し効率化

横持ち輸送の解消とともに、工場からの補充も東西2か所に集約されたことで輸送効率がアップ。DC側の荷役作業も効率化が進み、物流費の削減に大きな成果を生んだ。

現場の視点で見直す

一方、ある住宅メーカーでは、自社で生産から販売・施工まで一貫して手がける直営体制へ移行したのに伴って、物流を見直した。

従来は販社制度をとり、工場の製品や調達した部材を施工現場へ引き渡すまでが同社の役割で、その後は販社の担当だった。このためメーカーの立場で効率の良い物流体制を考え、工場に併設した物流センターから現場へ4ト車が進入できないところへ小型車の配車も必要だ。また現場から配送スタッフに、作業場所への搬送を望む声も寄せられた。

これを受けて、物流センターと現場の間に中継基地を設ける施策を打った。中継基地で現場の要望にに応じて配送頻度を設定し、適正車両を手配する。配送車には助手を同乗させ、納品時に作業場所までの搬送作業を行う。ただし、この施策はコストアップにつながる。それを避けるため、配送の帰りに施工現場の廃棄物を回収する方法を取った。以前は現場ごとに処理業者に廃棄物を引き渡し、処理方法や単価もまちまちだった。

中継基地に集約する方法に変えたことで、処理費用は大幅に減った。配送業務の平準化で物流費も下がり、トータルコストの削減を実現できたという。

(ジャーナリスト 巴 未希)

東京都に対する要望(概略)

平成26年度

【特別要望事項】

(1) 物流事業者に対する駐車規制の緩和について
集配中の営業用貨物自動車等の駐車禁止規制除外等、駐車規制の緩和措置を講じられたい。

(2) 改正運転免許制度への対応について
① 中型、大型免許を取得できる教習所の増設等の整備を図られたい。② 普通自動車運転免許の自動車の種類に係る適用要件を、車両総重量6.5ト未満までとしていただきたい。

(3) 25年度に実施した環境対策等に関する取り組み支援の継続について

東京都トラック協会がグリーン・エコプロジェクト事業を拡大していくための取り組みへの支援策を講じられたい。また、CNG(天然ガス)トラックに対する支援策を講じ、ハイブリッドトラックに対しても継続支援を図られたい。

(4) 三環状道路をはじめとする道路整備の推進について
首都圏三環状道路は交通渋滞の解消や環境改善のほか、災害時には重要な役割を果たすため、事業中間の確実・早期の完成を要望する。

(5) 今後の高速道路料金の設定について

管理主体を超えた二体系的、連続的利用料金体系とすることを要望する。特に大口・多頻度割引にかかるETCコーポレートカード利用額については、管理主体を超えた二体系的な取り扱いを、早急に実現するよう強く要望する。

(6) 首都高速道路通行料金の引き下げについて
営業用トラックの特別料金制度導入について強く要望する。

(7) 距離別料金について
従前の料金を上回らないよう再検討されたい

(8) 廃止された平日昼間割引(ピーク時割引・オフピーク時割引)、平日夜間割引、日曜・祝日割引、お得意様割引の復活を要望する

(9) 26年3月末まで大規模物流拠点の整備促進と関係規制の緩和を要望する

多頻度割引などの継続を要望する

(4) 首都高速をはじめとする高速道路構造物の老朽化対策は、国の責任で取り組みを進めること

(7) 高速道路等通行料金の大幅な引き下げについて

① 26年3月末に期限を迎える割引措置(深夜割引5割・地方部における昼間3割引など)について、来年度以降も継続・拡充することを強く要望する

② 終日基本料金の半額化および大口・多頻度割引の実現を要望する

(8) トラック物流施設等の整備促進について
① 都市周辺部における大規模物流拠点の整備促進と関係規制の緩和を要望する

望する

(2) トラックベイ等荷捌き用駐車スペース、荷捌き専用スペースの確保および大型ビル等における共同荷受け施設、共同集配用物流施設設置の促進・義務付けを要望する

(3) 住民、商店街等への集荷・配送用トラックの駐車場所確保の必要性の周知と支援を要望する

(9) 公共流通業務センターの整備について
① 多摩地域に公共流通業務センターを早期に整備されたい
② 交通環境の変化に対応したトラックステーションの再配置・整備を要望する
③ 都心におけるトラックステーションの設置を要望する

(10) 東京港の混雑の早期解消について
① 車両の待機場所および

26年度 税制改正等要望事項

【重点要望事項】
《税制改正関連》
(1) 自動車関係諸税の

【交付金に対する特別要望事項】
(1) 運輸事業振興助成交付金について
軽油引取税本則税率において、基本理念に基づく適正な交付額の措置を強く要望する。

(2) 東京都交付金の交付額について
26年度における交付額は年額12億円とされたい。

(3) 中小企業投資促進税制の拡充・延長
(4) トラック協会が運営する地域防災・災害対策関連施設について、固定資産税の軽減措置の適用

【予算関連】
(1) 燃料価格高騰に対する補助・助成の創設

① 一般財源化により課税根拠を失った軽油引取税について、少なくとも旧暫定税率の廃止
② 自動車重量税の廃止もしくは道路特定財源への位置付け
③ 石油石炭税に係る「地球温暖化対策のための課税の特例」について還付措置の適用

(3) 中小企業投資促進に対する補助の継続および拡充
③ エコタイヤに対する補助・助成の創設
④ 先進環境対応型ディーゼルトラックへの代替補助の創設
⑤ 軽油インテック新設・改修に対する補助・助成の創設

カメラは見ていた。その瞬間を!

YAZAKI

ドライブレコーダー

を付けてみませんか?

ご希望がございましたら、ご連絡下さい。

矢崎エナジーシステム 特約販売店

世田谷サービス株式会社

本社 03-5727-1600
板橋(営) 03-5916-3557
ホームページ <http://www.setagaya-yss.co.jp>
E-mail: postmaster@setagaya-yss.co.jp

自動車事故対策機構 (NASVA) は10月8日、千代田区の東京国際フォーラムで第8回NASVA安全マネジメントセミナーを開催する。参加申し込みは9月20日まで(定員になり次第締め切る)。

今回は、交通安全防止の上で重要な運転者の健康管理に関する基調講演や特別講演、ISO 39001(道路交通安全マネジメントシステム)をテーマにしたパネルディスカッションの開催が予定されている。

安全マネジメント支援ツールを展示・紹介する。なお、基調講演や特別講演などが行われる第1会場は参加費5千円、および第2会場は同3千円。申し込みはNASVAホームページ (<http://www.nasva.go.jp/>)、または申込用紙をセミナー事務局へFAX(0120-524-717)送信。

▽問い合わせ先
NASVA安全マネジメントセミナー事務局(フリーダイヤル) 120-524-117、03-3871-4261へ。

NASVA 安全マネジメントセミナー
10月8日開催

平成25年度 第1回 運行管理者試験問題正答表 (貨物) (平成25年8月25日実施)

問1	問2	問3	問4	問5	問6
A:2, B:3 C:5, D:7	2	2,3	3,4	2	4
問7	問8	問9	問10	問11	問12
3	2,4	2	A:5, B:8 C:4, D:3	2,4	3
問13	問14	問15	問16	問17	問18
3	2	A:3, B:1 C:2, D:2	2	1,2	2,4
問19	問20	問21	問22	問23	問24
3	A:5, B:7 C:1, D:4	2	3	4	適4 不適1,2,3
問25	問26	問27	問28	問29	問30
適1,5 不適2,3,4	1,3,4	適2 不適1,3,4	3	①45(メートル) ②53(メートル)	1,2

(試験問題は4・5面)

第13期 物流経営士課程 修了式



東京都トラック協会は9月4日、東ト総合会館で第13期物流経営士課程の修了式を開催し、所定の課程を修了した31人に対して、大高一夫会長がそれぞれ修了証書を授与した。

今回の修了生は東ト協会の受講者27人、およびネットワークを今後、社業の発展とトラック運送業界のレベルアップに大いに役立てていただきたい」と述べた。

び山梨・埼玉各県ト協会員の2人、全日本トラック協会事務局の2人。修了生は全ト協認定資格である「物流経営士」に認定され、全ト協の村田省威常務理事から認定証が授与された。東ト協の講座では、今回の第13期生を含めて375人の物流経営士が誕生したことになる。

同日はあわせて優秀賞3人、皆勤賞10人、精勤賞(出席率95%以上)7人の表彰が行われ、プライム物流の柿本泰幸氏が最優秀賞を受賞した。

修了式であいさつに立った大高会長は、業界を取り巻く環境の厳しさを指摘した上で、「講座で学んだ知識や仲間同士のネットワークを今後、

10月にパソコンセミナー

東ト協は、10月に「運送業のITスキルアップを目指す」パソコンセミナーを開催する。申し込みは9月24日まで(定員になり次第締め切る)。

A日程は10月8・9日
B日程は10月10・11日
(2日間コース、全6レッスン)。時間は各日とも午前10時から午後5時まで。1レッスンは約2時間。

希望するレッスンのみの受講も可能。セミナーではエクセルの基礎・初級・中級から、パワーポイントによるプレゼンテーション資料作成の基本や実習などを行う。受講対象は会員事業者の経営者・管理者社員。定員は1レッスン20人(1社1人優先)。受講料は3千円(テキスト代込み)。1レッスン受講でも全レッスン受講と同額。

参加申込書に記入の上、東ト協教育研修部にて、

〒100-0001 東京都千代田区千代田1-1-1
TEL 03-359-4137
FAX 03-359-6020

トラック運送事業の経営課題の克服に向けたアドバイスを交え、祝辞を述べた。

この後、修了記念パーティーが催された。

大(同)▽橋正司(千代田運送)▽土田辰司(多摩運送)▽土橋友文(西多摩運送)▽中込博(全ト協)▽中林一(竹内運輸工業)▽並木孝裕(新富運)▽西村修一(多摩運)▽濱野嘉彦(ハマノ)▽林大希(日本運輸機)▽林伸浩(ハヤシ配送サービス)▽福安暁(三鷹運送)▽保科秀幸(西多摩運送)▽町田哲也(日本ロジテム)▽森岡義峰(フィット)▽森本勝仁(東亜物流)▽山内広紀(イーストロジテック/埼玉ト協)

10月5・6日に開催 「BO-SAI EXPO 2013 in TOYOSU」 協賛・PRブース出展

東ト協は今年の「トラックの日」本部イベントとして、10月5・6の2日間、江東区の「ららぽーと豊洲」で開催される『BO-SAI EXPO 2013 in TOYOSU』に協賛・ブース出展してPR活動を行う。開催時間は午前10時から午後6時まで。「防災・防犯・交通安全」をテーマに、親子を中心とした一般市民向けの参加・体験型イベントとして開催されるもの。

東ト協の出展ブースでは、ビデオ放映やパネル展示などで、暮らしや経済を支える緑ナンバートラックの役割や、業界の安全・環境対策の取り組みなどを紹介する。また実際のトラックを展示し、運転席から視界体験をしてみようほか、子供向けに簡単な「トラッククイズ」を行い、交通安全ノベルティ(反射板キーホルダー)やウエットシートを配布する。

富士急ハイランド 3日間限定感謝デー

東ト協の契約レジャー施設「富士急ハイランド」では、9月21・22・23日の3日間限定の「秋のスペシャルデー」(感謝デー)を実施し、通常より割安料金で利用できる。

協会日誌

- 【8月16~31日】
- 19日 サポート事業
 - 20日 緊急輸送システム検討委員会▽ロジ研本部連絡会▽食糧専門部会▽粉委員会▽グリーン・エコプロジェクトセミナー(23日)
 - 21日 東京都・新島村合同総合防災訓練島しょ訓練調整会議▽東京都・あきる野市合同総合防災訓練調整会議▽鉄鋼専門部会安全環境委員会▽運行管理者試験
 - 22日 事前説明会▽サポート事業
 - 23日 サポート事業
 - 25日 運行管理者試験
 - 26日 事務局部長会▽九都県市合同防災訓練参加者説明会世田谷支部▽サポート事業
 - 27日 労務厚生委員会
 - 28日 プリヂストンリットレッドタイヤ見学研究会▽サポート事業
 - 29日 税制金融委員会▽三組連絡会
 - 30日 サポート事業
 - 31日 九都県市合同防災訓練
- 【9月16~30日】
- 17日(火) 15時ロジ研正副本部長会議・幹事会合同会議(東ト総合会館)▽17時20分同オープンセミナー(同)
 - 18日(水) 11時海上コンテナ専門部会定例役員会(日本コンテナ輸送(株))▽13時総務委員会
 - 19日(木) 10時海上コンテナ専門部会法令遵守活動に関する説明会(東ト総合会館)
 - 20日(金) 10時海上コンテナ専門部会法令遵守活動に関する説明会(東ト総合会館)
 - 25日(水) 10時紙・パルプ専門部会役員会(東ト総合会館)
 - 26日(木) 東ト協街頭指導活動統一実施日▽16時30分出版・印刷・製本・取次専門部会役員会全体会議(東ト総合会館)

日程ポッド

お悔やみ
申し上げます

荒木 行夫氏(大運輸代表取締役社長・江戸川支部) 8月27日、食道ガンのため死去77歳。通夜は9月1日、告別式は同2日にそれぞれ江戸川区の西葛西セレモニーホールで。喪主は妻・恭子さん。葬儀委員長は長男で同社専務取締役の荒木広行氏(ダイイチロジステイクス代表取締役社長)。

関交協の自動車共済

自賠償 + 自動車共済

セット契約割引実施中!!

詳しくは、関交協・営業推進部
☎ 03-5337-1753

トラックの自動車事故損害賠償と交通事故防止

関交協

関東交通共済協同組合

自動車共済の掛金が割引になります!

関交協 検索

健診受診機会の拡大へ

本部開催も実施の方向

東京都トラック協会労働厚生委員会(水野功委員長)は8月27日、東ト総合会館で平成25年度第2回委員会を開催。議事録に先立ち、健康起因事故防止の観点から「脳ドック検査」について説明を受けた後、定期健康診断の受診率向上対策に関して審議した。

水野委員長は冒頭あいさつで、運輸事業振興助成交付金による健診助成が認められたことを踏まえ、改めて「受診率の向上」を第一に取り組みことが重要と強調した。

受診率向上対策については、5月の第1回委員会で受診機会の拡大のため、各支部による集団健診の相互利用が提起され、受け入れの可否などについてアンケート調査を実施した。

調査によると、健診実施情報の協会ホームページ掲載や、他支部会員の受け入れについて「可能」との回答が6支部、「条件付きで可能」が7支部、一

方で「不可」が12支部と半数近くあった。

同日は、この調査結果を踏まえて審議。できるだけ受診機会を増やすとの観点から、再度、確認の上、了解が得られた支部の健診実施情報を協会ホームページに掲載・公開することを了承。あわせて各支部の健診を補完する形で、本部主催の健診を実施する方向で検討することにした。

また、交付金による健康診断助成事業の助成要件(会費納入車両30台以下の会員事業所)について、今年度は現行要件で実施し、来年度以降、実施状況を踏まえ検討することにした。

また、交付金による健康診断助成事業の助成要件(会費納入車両30台以下の会員事業所)について、今年度は現行要件で実施し、来年度以降、実施状況を踏まえ検討することにした。



東ト協 労務厚生委員会

同日は、このほか、健診受診率向上のための啓発チラシ作成・配布について承認。新たな福利厚生施設として「サンリオピューロランド」との利用契約について、交渉を進めることを了承した。

脳ドック活用で 交通事故防止を

同日は議事に先立ち、水町クリニックの水町重

脳ドック費用は一般的な3〜5万円から6万円程度かかるが、同グループの水町エム・アールクリニックでは法人契約を前提に、検査費用は1万5000円(特別価格)で、検査時間も約15分で受診できるとし、活用を呼びかけた。

同日は、警視庁交通部交通安全組織係長が、秋の交通安全運動における運動の基本や重点4項目について説明。あわせて事業用トラックの事故発生状況について、今年上半期は約1700件で前年同期より約100件少ないが、このうち追突事故が約46%を占めるとし、注意を促した。

「無事故遂行」へ効果的に展開 秋の全国交通安全運動

東ト協事故防止委員会(江森委員長)は9月3日、東ト総合会館で平成25年度第3回委員会を開催。秋の全国交通安全運動(9月21〜30日)について、警視庁と東京運輸支局の担当官から説明を受けるとともに、9月26日の街頭指導活動統一実施日を中心として、効果的に交通安全活動を展開するよう求めた。

東ト協の取り組みとしては、各支部が統一実施日にできるだけ歩調を合わせて街頭活動を展開し、各地域の主要交差点などで安全誘導や事故防止を呼びかける。

東ト協 事故防止委員会



トラック11台出動
東ト協は8月31日と9月1日の2日間、平成25年度九都府市合同防災訓練(幹事・千葉市)に参加し、救護物資の緊急輸送訓練を行った。

訓練は、首都地域の直下で大地震が発生したとの想定により行われ、東ト協は広域応援訓練に参加した。

人、世田谷支部のトラック11台(2ト車8台・4ト車3台)および協会車1台が参加。

同日は、警視庁交通部交通安全組織係長が、秋の交通安全運動における運動の基本や重点4項目について説明。あわせて事業用トラックの事故発生状況について、今年上半期は約1700件で前年同期より約100件少ないが、このうち追突事故が約46%を占めるとし、注意を促した。

また、東京運輸支局の遠藤登陸運技術専門官は、同支局の秋の交通安全運動実施細目について説明。過労運転や健康起因事故などを防止するためには、適切な運行管理を行う必要があると強調し、特に対面点呼を徹底するよう求めた。

また、警視庁主催のセミナー「コンテスト実施結果や、各支部による運転者講習事業の実施要領などについて説明した。なお、議事終了後、関係者から、東ト協環境委員会のリトレッドタイヤ研修会開催について、環境問題や経費削減のためリトレッドタイヤの活用を促された。



また、警視庁主催のセミナー「コンテスト実施結果や、各支部による運転者講習事業の実施要領などについて説明した。なお、議事終了後、関係者から、東ト協環境委員会のリトレッドタイヤ研修会開催について、環境問題や経費削減のためリトレッドタイヤの活用を促された。

東ト協 環境委員会 リトレッドタイヤ研修会

東ト協環境委員会(彦田昌昭委員長)は8月28日、グリーン・エコプロジェクト参加事業者を対象にプリズトンのリトレッドタイヤ(更生タイヤ)研修会を開催した。研修会は、小平リトレッドタイヤの同社リトレッドタイヤセンターで行われたもので、リトレッドタイヤのメリットや経費削減に役立つ空気圧管理の仕方などについて研修した。

研修会では、生産財カネパニー首都圏ブロック統括の番匠谷克志執任役員が、「わが国では新品タイヤを選択する傾向にある」と述べた。

また、生産財販売統括本部の山本洋ソリューション推進部長が、燃費削減や耐久性確保に役立つ適正な空気圧管理の仕方について説明した。

アケセル君

No.729 芝岡☆友衛



大田支部

東ト協大田支部(三浦徳邦支部長)は9月1日、警視庁が実施した震災警備総合訓練に参加した。

交通規制支援ボランティア 警察の震災訓練に参加

同日は午前9時から約10分間、環状七号線・春日橋交差点で都心方向を通行禁止とする交通規制が行われ、同支部のボランティア19人が手信号で交通整理を行う警察官に協力し、歩行者の保護誘導活動を行った。

●保安基準大幅改正・改訂 発売中!!

改訂19版 (平成25年4月刊)

保安基準ハンドブック

定価 1,575円 (税込)

平成25年版

自動車六法

定価 5,775円 (税込)

(株)輸送文研社 <柏林書房>

TEL.03-3861-0291(代) FAX.03-3861-0295

視点 焦点 合点

文と写真＝
写真家・石黒健治
http://ishigurokenji.com



炭火で焼くサンマ。気仙沼の塩、大根おろし、大分のかぼすで食べる。煙をよけながら、おいしい匂いを嗅いで、焼き上がりを待つのも楽しい。

大丈夫か？ 『目黒のさんま祭』

えー、残暑厳しい最中、秋の香りのするお祈り（はなし）を一席。

目黒のサンマとはなに？ 古典落語から来ていることぐらいは知っていたが、中身の話はうろ覚えだ。ではもう一度、聞いてみよう。

五代目圓葉師匠も、三代目金馬師匠も、上、下の話から入る。横棒を引いてそれぞれにトの字を書く。上のお方は横棒の下のことをご存じない、上の方のことは下々のものには分からない、という、格差はげしい江戸時代のお祈りである。

殿様の毎度の食事は、生ぬるいものしか食べられなかった。遠くの台所から運んできて、お毒味があるから、せつかくの料理が冷めてしまう。魚

と、例えば、さくら色の鯛がほとんど、というような説明があつて、ある時、殿様は急に鷹狩りに出る。今の目黒から世田谷一帯は、殿様の狩り場で、鷹番の小屋があつたところが、現在の目黒区鷹番だそうである。

急な出立で、弁当の準備ができなかった。腹を空かせたところへ、何やら香ばしい匂い。あれは何じゃ。百姓がサンマを焼いておられます。それをもてえー。サンマは下々の者が食すもの、と断るが、結局、百姓から取り上げて、黒こげで灰のついたのを、欠けた皿にのせて差し出す。これは何じゃ、真つ黒で細長いではないか。殿様は、魚というものは丸く太つていて、さくら色をしているものと思つている。

ところで、目黒でなぜサンマか？ という疑問には、三代目金馬師匠は、百姓が野菜と取り換えた、と説明している。当時の目黒ではおいしい芋がとれ、芝浜で魚と交換したのだ。目黒川に遡上してきたサンマを、農民がとつていたという説もある。

殿様は、これは旨い！ と、えらく気に入つてしまつた。圓葉師匠の斬では10尾、金馬師匠の斬では5、6尾を平らげる。が、家来は、このことは内密に、と願ひ上げる。このような下司の食べものを差し上げた上役に知られたら、切腹ものだといふ。殿様は秘密を約束するが、この旨さが忘れられない。

ある時、招かれた席でサンマを所望する。頼まれた方はさあ大変、日本橋の魚河岸へ走つて手に入れ、さて、この脂は下品で身に悪いだろう、と蒸し焼きにして骨を抜き身をほぐし、金馬師匠の斬では、つみれにして汁ものにしてしまつた。

これが不味(まず)い。脂を抜いてばさばさの、まさに出しがらである。これはどこのサンマか。日本橋の魚河岸で手に入れたまじりごりです。当時は、日本橋は高級品のブランドだったのだが、殿様は、「うーん、サンマは目黒に限る！」。おなじみの一席でした。

「目黒のさんま祭」は2つある。9月第一週(今年8日)の目黒駅前商店街振興組合青年部主催のもの、第2週(15日)の目黒区民まつり実行委員会主催のものである。前者は例年、岩手県宮古のサンマを使つてきたが、今年是不漁で北海道産に変わった。後者は宮城県気仙沼のサンマだ。

それぞれの旬にあわせて期日を選び、水揚げ直後の新鮮なものを、最新の輸送技術で直送してくる。どちらも産地からの提供である。

いずれも2年半前の大震災の被災地である。昨年、気仙沼から出漁に出た船はたった4隻だった。今年は11隻が8月17日に北へ向かつて、道沖で操業を開始した。しかし、海にはイワシばかり。サンマを求めて、さらに北へ向かつていくという。現地では最優先で送ると言っているそうだが、燃料費も上がり、昨年1尾100円ぐらいだったものが、今年は300円、小さくて脂ののりが悪い。

殿様が目黒で食べたようなおいしいものは、1尾800円もするといふ。さんま祭は大丈夫か？



気仙沼から氷詰めで直送されてきたサンマ (昨年9月撮影)

は、誰に文句をいえないのか、相手がいない。60年の時間が経つた先の大戦争は、人間が造つた「震災」で、その恐ろしさは地震の災害に匹敵する。半藤一利さんの「昭和史残日録(戦後篇)」だ、と書いてある。打ちひしがれ、廃墟になつた目前の状況は同じだろう。復興への努力をせねばならない。NHK テレビは、繰り返し関東大震災の悲惨な状況を放送していたが、いつ起こるともされない巨大地震への備えを促す意味があつてのことだろう。◆出版物もある。ちよつとユニークなものは、当時「文豪」と称された作家たちの「文豪たちの関東大震災体験記」(石井正己著、小学館新書だ。覚めた目がある。

ミニ目

今年9月1日、関東大震災発生から90年目を迎えた。この大震災級の大地震が近い将来、関東に起こると予測されているが、全くやり切れない。こればかり

パズル & クイズ

by 草野 公平

二字熟語パズル

例題のように、周囲の漢字と組み合わせると二字熟語になる漢字を入れてください。最後に中央に入った漢字を使って四字熟語を作ってください。それが答えです。

【例題】

金	幸	陸
開	運	転
命	送	河

【問題】

景	元	殺
空	球	質
合	庄	圧

組	歩	集
結	同	唱
同	凶	宿

好	完	暴
手	票	書
資	資	資

任	不	善
熱	思	向
味	見	向

【解答】

ポケット

四国遍路紀行 ちよつと一服 第11回

ルポライター 飛鳥井 恭司

歩き遍路は朝早く出発します。道々で遍路姿を見かけると、小・中学生たちが徒歩通学でも自転車通学でも、大きな声で「おはようございます」と声を掛けてくれます。日中でも「こんにちは」の声が掛けられます。

それだけでなく、歩いているといろいろな方があいさつしてくれたり、声を掛けてくれます。時には「苦勞さま」と言われることもあります。なかには車を止めて話し掛けてくれる方もあります。すし、びっくりしたのが、運転中の方が手を合せてあいさつしてくれていることです。

いきなりのあいさつに、初めのうちは少々のとまどいもありました。

車からのあいさつにびっくり

でも考えてみると、これは私にはなく、一緒に歩いているとされる弘法大師へのものなのです。弘法大師は金剛杖に化身し、遍路を導いてくれるといわれています。そのため、金剛杖は丁寧な扱ひのがしきたりです。

宿に着くと、まず杖の足下を洗います。遍路宿なら、どの宿でも杖を洗う桶が用意されていたり、水場などが設けられています。

杖は部屋に持つていつて、床の間など上座に置きます。宿の方も心得ていますから、床の間のある部屋ではちゃんとそこに置いてくれます。

このように杖は大事に扱われ、途中で休む時には、杖を休めてから腰を下ろすなどして休めとか、トイレには持ち込むなどか、いろいろと注意すべきことがあります。

その中には「他人の置き忘れた杖を使うな。置き忘れた人の『業』を拾って歩く」というものもあります。

応募方法

官製はがきに、①答え②あなたの住所・郵便番号③会社名④氏名⑤年齢⑥本紙へのご意見・ご要望を明記し、お送りください。正解者の中から抽選で3名様に図書カード(1,000円分)をプレゼント。

●宛先＝〒160-0004 新宿区四谷3-1-8 (一社)東京都トラック協会 広報部「トラック時報」係

●締め切り＝9月末日 (正解は10月10日号に掲載)

四国遍路紀行 ちよつと一服 第11回

ルポライター 飛鳥井 恭司

でも考えてみると、これは私にはなく、一緒に歩いているとされる弘法大師へのものなのです。弘法大師は金剛杖に化身し、遍路を導いてくれるといわれています。そのため、金剛杖は丁寧な扱ひのがしきたりです。

宿に着くと、まず杖の足下を洗います。遍路宿なら、どの宿でも杖を洗う桶が用意されていたり、水場などが設けられています。

杖は部屋に持つていつて、床の間など上座に置きます。宿の方も心得ていますから、床の間のある部屋ではちゃんとそこに置いてくれます。

このように杖は大事に扱われ、途中で休む時には、杖を休めてから腰を下ろすなどして休めとか、トイレには持ち込むなどか、いろいろと注意すべきことがあります。

その中には「他人の置き忘れた杖を使うな。置き忘れた人の『業』を拾って歩く」というものもあります。

☆インターネットでご応募も可能です。
http://www.totokyo.or.jp/
☆インターネット応募の場合、解答フォームをご利用ください。東ト協HPトップ「会員の方へ」をクリックし、次ページ右の「トラック時報パズル&クイズに応募」へ。

★8月10日号「キーなしクロスワード」の正解は「カスイヨク」でした。